

事務事業調査 平成23年度	No	425	課名	商工課	起案者	蜂須賀知子
			係名	商工観光係	決裁者	山中詔雄
事業種別	市民サービス		区分	継続	業務一覧No	6
事務事業名	安城七夕まつり支援事業				他係名	
					他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 4 観光 1 観光 1 観光資源 1 安城七夕まつり			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		35-5-15
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)			法定受託事務	無	
根拠法令	有	安城七夕まつり協賛会補助金交付要綱				
実施方法	全部委託	委託先	その他(七夕まつり協賛会)			
実施期間	開始	昭和29年度	経過	57年目	終了	期間
公約・議会答弁	有	H20.6.13定例会 七夕まつり 区域内の禁煙について検討				
陳情・市民要望	無					

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民および観光客が	～になる	七夕まつりに多数訪れるようになる。
事務事業の内容	安城七夕まつり協賛会へ補助金を交付します。商業者と市民が協働で取り組む体制づくりを進めるとともに、飾り付けに電飾を取り入れるなど、新たな魅力づくりに取り組みます。協賛会の実行委員会には、総務・装飾・事業・宣伝・市民の5つの部会があり、職員もその部会で活動します。			
事務事業進捗状況	平成16年度：第51回来場者数122万人、補助金額51,927千円 平成17年度：第52回来場者数121万人、補助金額51,947千円 平成18年度：第53回来場者数121万人、補助金額53,700千円 平成19年度：第54回来場者数118万人、補助金額63,700千円(市制55周年記念) 平成20年度：第55回来場者数119万人、補助金額63,700千円(七夕55回記念) 平成21年度：第56回来場者数122万人、補助金額53,700千円 平成22年度：第57回来場者数118万人、補助金額54,700千円			
改善・対策の履歴	平成20年度から七夕まつりの情報を携帯電話からも検索可能とし、利便性を向上させました。 平成21年度から通年で事業について検討できる事務局体制を整備するとともに、指定場所喫煙を実施しました。 協賛依頼においては、新規事業者を追加し、前年度を上回る協賛金が得られました。 「七夕まつりをもっと元気にする5カ年計画」を策定しました。 平成22年度から協賛ステージを設けました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	77,932	77,932	67,932	64,920	61,477	62,456	65,447
財源計 a	63,700	63,700	53,700	53,700	54,700	54,700	53,700
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	63,700	63,700	53,700	53,700	54,700	53,700
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	14,232	14,232	14,232	11,220	6,777	7,756	11,747
内訳 従事職員数	1.89	1.89	1.89	1.49	0.90	1.03	1.56
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	補助金交付	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	0.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	七夕まつり協賛会補助金(式)	活動の総事業費f 実績	77,932	67,932	15,060	
				単位コストg=f÷b 実績	77,931.70	67,931.70	15,060.00	
	活動②	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		安城七夕まつり来場者数(人)	見込(単位)	1,200,000.00	1,300,000.00	1,300,000.00	1,300,000.00
			実績(単位)	1,190,000.00	1,220,000.00	1,180,000.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	1,300,000.00	目標達成年度 平成26年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	竹飾りの竹墨への再利用、ごみの分別収集、打ち水などを実施すると共に、路上喫煙の禁止や駐輪場を設置し、環境首都をアピールできるイベントとして、きれいで安全な七夕まつりを開催しています。 開催区域内の住民から交通規制や騒音に対する苦情が寄せられています。 会場に近い駐車場においては、休日の夕方には満車の状態になり、渋滞が生じています。

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	補助事業として単位コストに変動はありません。 個人や団体へボランティアの参加を呼びかけており、ごみ収集などのコストの削減に取り組んでいます。 警備やごみ処理など、各種委託業務の見直しを行い、コストの削減に努めています。
	成果1,2	市民参加のまつりとして、より魅力ある七夕まつりとなるよう取り組んでいます。 屋外のまつりのため、来場者数は天候に大きく左右されます。 平成21年度から「七夕まつりをもっと元気にする5カ年計画」を策定し、「願いごと、日本一。」を達成するための各種イベントを進めています。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	竹飾りなど商店の減少などにより各商店街振興組合への負担が大きくなっています。市民総参加の七夕まつりを目指すため、飾りに対する支援策について見直しを行います。 環境首都の理念どおり、ごみの減少に務め、分別もさらに徹底するように努力していきます。 路上喫煙の禁止を励行します。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	商業者だけでなく、より多くの市民の参加を呼びかけ新たな魅力を取り入れていく必要があります。